

令和7年1月22日（水）
市民部生活環境課環境係
電話 0126-62-3145（内線 2225）
担当：中村・松原

令和6年度北海道生物多様性保全実践活動賞
（通称「未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞」）
受賞について

「宮島沼の会」の生物や環境の調査などの多岐に渡る活動が評価され、受賞となりました。

1 とき

令和7年1月30日（木） 13:00～13:30

2 ところ

ホテルライフオーブ札幌 4階アニマート（札幌市中央区南10条西1丁目）

3 内容

北海道生物多様性保全実践活動賞とは、道内で生物多様性の保全等に関し、優れた活動・模範的な活動を行う企業、団体等を表彰するものです。

この度、宮島沼の保全を目的に小学3年生から中学3年生が「自然戦隊マガレンジャー」として生物や環境の調査、地元の農産物を使ったメニュー開発、ヨシの利活用への取り組みなど、宮島沼の会における多岐に渡る活動が評価され、受賞となりました。

当日は、表彰式のほか活動発表も行います。

4 その他

当日、会場での取材に関する問い合わせは主催者にご確認ください。



世界自然遺産・知床の日記念行事 日高山脈襟裳十勝国立公園指定記念行事

知床・日高山脈 襟裳十勝 大百科

2025年
1月30日(木) 13:00~
ホテルライフオーツ札幌
4階 アニマート(札幌市中央区南10条西1丁目)

参加無料
(要申込)
先着200名



来場プレゼント
をご用意しています
電話・メールでも
申込可能



第一部

北国のいきもの
守りたい賞表彰式
13:00~13:30

- 生物多様性保全の模範的な活動を行う団体等を表彰
- 受賞者の活動発表

第二部

話題提供
講演
13:50~15:20

- 話題提供:観光庁・環境省
- 講演:(講師)環境省顧問,前環境事務次官,北海道顧問

和田 篤也氏

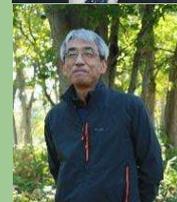
<テーマ>
環境政策の変遷と最新動向,ネイチャー
ポジティブとしての国立公園政策について



第三部

パネル
ディスカッション
15:30~16:30

- テーマ:国立公園の魅力向上と地域活性化
- <コーディネーター>
愛甲 哲也氏(北海道大学大学院教授)
- <パネリスト>
村田 良介氏(知床財団代表理事),
和田 篤也氏,他2名予定



※それぞれの開催時間は目安であり,進行状況によって前後する可能性があります。

主催:北海道
共催:北海道立生涯学習推進センター / (公財)北海道生涯学習協会 / 斜里町 / 斜里町教育委員会 /
羅臼町 / 羅臼町教育委員会 / 公立学校共済組合札幌宿泊所(ホテルライフオーツ札幌)



道民カレッジ
単位認定講座を
兼ねています

申込み・お問合せ 北海道環境生活部自然環境局自然環境課 tel:011-204-5204 mail:kansei.shizen1@pref.hokkaido.lg.jp

講師プロフィール（和田 篤也氏）

北海道室蘭市出身。1988年北海道大学大学院工学研究科情報工学専攻修了、同年環境庁（現環境省）に入庁。大阪府出向、通商産業省出向、国際協力銀行出向などを経験し、2012年環境省地球環境局地球温暖化対策課長、2017年環境省環境再生・資源循環局総務課長、2019年環境省大臣官房政策立案総括審議官、2020年環境省総合環境政策統括官などを経て、2022年から2年間環境事務次官を務める。現在は環境省顧問および北海道顧問。

知床の価値について、改めて考える日

♪「世界自然遺産・知床の日」とは？

知床は、北半球において流氷が接岸する南限であり、この流氷の影響を受けた海と陸の生態系の豊かなつながりが高く評価されて、世界自然遺産に登録されました。

このため、道では、遺産登録年（2005年）の知床における流氷接岸初日の1月30日を「知床の日」としました。



♪Shiretoko 60th20th

2024年～2025年の2ヶ年、知床国立公園指定60周年および世界自然遺産登録20周年を記念し、様々なイベントを通して知床の価値と魅力を発信しています。

「未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞」 受賞者紹介

北海道生物多様性保全実践活動賞（通称：未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞）とは、道内で生物多様性の保全等に関し、優れた活動・模範的な活動を行う企業、団体等を表彰するものです。

鶴居村立幌呂小学校（鶴居村）

タンチョウへの給餌活動

昭和27年12月に、同校近くの畑にうずくまっているタンチョウを発見し、そのタンチョウを救うため、各家庭から穀物等を持ち寄ったことから給餌が始まった。以降、地域住民と協力する等、活動を発展させてきた。

また同校では、本活動に付随してタンチョウ学習を充実させ、冬季には観光客に対し、児童によるタンチョウに関するガイド活動を実施している。



宮島沼の会（美唄市）

自然戦隊マガレンジャー

小学3年生から中学3年生を主体とするジュニア・ユースグループで、月に1～2回活動している。

その活動は、隊員の発案で開始され、生物と環境の調査活動、ごみ拾いなどの環境整備活動、展示物の作成や自然ガイド、地元の農産物を使ったメニュー開発、ヨシの利活用に向けた活動など多岐にわたる。

